

航空法第111条の4に基づく報告一覧(令和2年4月～令和2年9月)

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/1	スターフライヤー	E7A7型A320-214型	JA07MC	北九州空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/1	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA06JC	鹿児島空港	屋久島空港	対地接近警報装置の地形データに誤りがあったことから、進入中、対地接近警報装置が誤った警報を出した。	
4/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	神戸空港	長崎空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
4/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	成田国際空港	上海(浦東)	整備委託先において、脚扉のシールに製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
4/2	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA824A	大阪国際空港	那覇空港	進入中、必要な操作を失念したことから、対地接近警報装置が作動した。	
4/2	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA06JC	鹿児島空港	屋久島空港	対地接近警報装置の地形データに誤りがあったことから、進入中、対地接近警報装置が誤った警報を出した。	
4/2	スターフライヤー	E7A7型A320-214型		福岡空港	中部国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
4/3	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA58AN	新千歳空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/3	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA87AN	東京国際空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/3	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA824A	東京国際空港	福岡空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/3	北海道エアシステム	サーブ式SAAB340B型	JA02HC	函館空港	札幌飛行場	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/3	スターフライヤー	E7A7型A320-214型		中部国際空港	福岡空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
4/3	スターフライヤー	E7A7型A320-214型	JA21MC	東京国際空港	山口宇部空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
4/3	スターフライヤー	E7A7型A320-214型	JA21MC	山口宇部空港	東京国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
4/3	スターフライヤー	E7A7型A320-214型	JA21MC	東京国際空港	関西国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
4/4	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA08JC	沖永良部空港	鹿児島空港	出発前の外観点検で胴体後部のテールバンパーに擦過痕を発見した。	
4/4	スカイマーク					勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、整備従事者からアルコールが検知された。	
4/4	北海道エアシステム	サーブ式SAAB340B型	JA02HC	札幌飛行場	釧路空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	東京国際空港	福岡空港	飛行中、自動操縦装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示高度を超過した。	
4/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	那覇空港	中部国際空港	飛行中、飛行管理装置の入力画面が消失した。	
4/5	全日本空輸	ボーイング式777F型	JA772F	成田国際空港	ブノンペン	進入中、操作手順の確認が不足したことから、管制指示高度を超過した。	
4/5	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA13FJ	出雲空港	名古屋飛行場	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA618A	東京国際空港	福岡空港	飛行中、化粧室内の煙探知機が作動したため引き返した。	イレギュラー運航
4/5	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA66AN	東京国際空港	新千歳空港	社内調査の結果、操縦室内のスイッチ交換時の取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
4/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA338J	北九州空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	那覇空港	中部国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
4/7	全日本空輸	E7A7型A320-271N型	JA214A	松山空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/7	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA601A			運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
4/7	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	福岡空港	屋久島空港	対地接近警報装置の地形データに誤りがあったことから、進入中、対地接近警報装置が誤った警報を出した。	
4/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NX	中部国際空港	鹿児島空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
4/8	ジェットスター・ジャパン	E7A7型A320-232型	JA02JJ			社内調査の結果、発動機の取付け部品の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
4/8	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	大阪国際空港	屋久島空港	対地接近警報装置の地形データに誤りがあったことから、進入中、対地接近警報装置が誤った警報を出した。	
4/8	日本航空	ボーイング式787-9型	JA876J	台北(松山)	東京国際空港	客室乗務員が運航間のアルコール検査を適切に実施せずに運航したことが判明した。	
4/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	鹿児島空港	東京国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
4/8	スターフライヤー	E7A7型A320-214型		福岡空港	中部国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
4/9	全日本空輸	E7A7型A321-272N型	JA134A	大阪国際空港	仙台空港	進入中、擾乱による姿勢変化を修正していたところ、対地接近警報装置が作動した。	
4/9	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA08JC	鹿児島空港	屋久島空港	対地接近警報装置の地形データに誤りがあったことから、進入中、対地接近警報装置が誤った警報を出した。	
4/9	全日本空輸	E7A7型A321-272N型	JA139A	東京国際空港	那覇空港	進入中、対地接近警報装置が作動した。	
4/9	スターフライヤー	E7A7型A320-214型		東京国際空港	北九州空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/10	日本航空	ボーイング式787-8型	JA847J	大阪国際空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/10	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
4/10	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA56AN	福岡空港	中部国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/12	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA64AN	福岡空港	大阪国際空港	飛行中、機体が動揺した際、客室乗務員1名が負傷した。	航空事故
4/12	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA03JC	但馬空港	大阪国際空港	降下中、第1エンジンの出力が低下し、不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	福岡空港	仙台空港	飛行中、副操縦士側(右側)前方の操縦室窓にひび割れが発生した。	
4/12	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA815P	福岡空港	関西国際空港	社内調査の結果、機内酸素マスクの不具合に対して誤った運用許容基準を適用して運航したことが判明した。	
4/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	香港	成田国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/13	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA68AN	大阪国際空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/13	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA807X	東京国際空港	熊本空港	上昇中、気流の変化に対応していたところ、管制指示高度を超過した。	
4/14	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA01DJ			試験飛行中、一部の客室内の酸素マスクが展開しないことが判明した。	
4/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	神戸空港	東京国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
4/15	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ			社内調査の結果、飲み水用タンクに関する消毒の実施期限を超過していたことが判明した。	
4/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	那覇空港	福岡空港	飛行中、気象レーダーの表示に不具合が発生した。	
4/15	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	北九州空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
4/16	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA55AN	東京国際空港	高松空港	進入中、管制指示を誤認したことから、管制指示高度を超過した。	
4/16	日本航空	ボーイング式737-800型	JA313J			定時整備中、水平安定板の下面に亀裂が発見された。	
4/16	日本航空	ボーイング式737-800型	JA313J			定時整備中、水平安定板の構造部に亀裂が発見された。	
4/16	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長資格操縦士として乗務させていたことが判明した。	
4/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	東京国際空港	福岡空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
4/17	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA09VA	成田国際空港	福岡空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/19	日本航空	ボーイング式787-8型	JA847J	福岡空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/19	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA06FJ	神戸空港	松本空港	着陸後、機内の与圧が運用限界を超過した。	
4/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	那覇空港	神戸空港	地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/22	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8979	東京国際空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/22	日本航空	ボーイング式777-200型	JA009D	那覇空港	大阪国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/23	日本航空	エアバス式A350-941型	JA02XJ	那覇空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/23	日本航空	ボーイング式787-8型	JA848J	東京国際空港	福岡空港	離陸滑走時、ギャレーからコンテナが飛び出した。	
4/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA818P	成田国際空港	福岡空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA307J	東京国際空港	北九州空港	降下中、気流の変化に対応していたところ、管制指示高度を超過した。	
4/25	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA811P			定時整備中、右主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
4/25	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA811P			定時整備中、左主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
4/26	ANAウイングス	ボーイング式737-700型	JA05AN	大阪国際空港	松山空港	運航管理補助者が勤務開始時のアルコール検査を実施していないことが判明した。	
4/27	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA779A	上海(浦東)	成田国際空港	社内調査の結果、実施した作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
4/28	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA812A	東京国際空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
4/28	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ			社内調査の結果、非常脱出装置の交換作業が適切に行われていないことが判明した。	
4/28	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA27MC	東京国際空港	山口宇部空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
4/29	北海道エアシステム	サーブ式SAAB340B型	JA03HC	函館空港	奥尻空港	上昇中、非常用照明灯のサーキットブレーカーがトリップした。	
4/29	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA834A			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
4/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	那覇空港	福岡空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
4/30	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA805X	中部国際空港	那覇空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/30	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA16AN	東京国際空港	帯広空港	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、客室乗務員からアルコールが検知された。	
5/2	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA54AN	那覇空港	宮古空港	着陸復行時、テールスキッドを滑走路に接触させた。	
5/2	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		山口宇部空港	東京国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	北九州空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/4	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA67AN	中部国際空港	那覇空港	飛行中、胴体中央の非常脱出扉に不具合があったことを示すライトが点灯した。	
5/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	東京国際空港	新千歳空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
5/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	福岡空港	東京国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
5/6	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA731J	成田国際空港	サンフランシスコ	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
5/7	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA249J	東京国際空港	南紀白浜空港	離陸滑走中、速度検知系統のヒーターに不具合があったことを示す計器表示があった。	
5/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA316J	広島空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
5/9	日本航空	ボーイング式737-800型	JA306J	東京国際空港	長崎空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
5/9	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA738J	東京国際空港	シカゴ	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/9	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA744A	東京国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
5/9	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA873A	ホーチミン	東京国際空港	地上担当者の誤入力により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
5/10	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	成田国際空港	関西国際空港	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったが、検査記録を適切に処理しなかった。	
5/10	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	成田国際空港	関西国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査記録を提出していない事が判明した。	
5/10	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	関西国際空港	成田国際空港	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったが、検査記録を適切に処理しなかった。	
5/10	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	関西国際空港	成田国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査記録を提出していない事が判明した。	
5/11	天草エアライン	ATR式42-500型	JA01AM	天草飛行場	福岡空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
5/13	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		北九州空港	東京国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/14	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	ロサンゼルス	成田国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長資格操縦士として乗務させていたことが判明した。	
5/14	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	関西国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/15	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA243J	大阪国際空港	新千歳空港	出発前、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
5/15	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		関西国際空港	東京国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA848A	那覇空港	中部国際空港	飛行中、補助動力装置の火災探知器に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/16	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA825P	成田国際空港	鹿児島空港	着陸進入待機中、大気の流れにより、一時的に指示高度を逸脱した。	
5/17	日本航空	ボーイング式787-8型	JA845J			社内調査の結果、実施した一部の作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
5/17	日本航空	ボーイング式777-200型	JA701J			社内調査の結果、実施した一部の作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
5/17	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長資格操縦士として乗務させていたことが判明した。	
5/18	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8976			社内調査の結果、定時点検の実施期限を超過していたことが判明した。	
5/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	ロサンゼルス	成田国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長資格操縦士として乗務させていたことが判明した。	
5/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	東京国際空港	神戸空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
5/19	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA923A	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/19	日本航空	ボーイング式787-8型	JA835J	広島	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/19	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA61AN	新石垣空港	那覇空港	進入中、必要な操作を失念したことから、対地接近警報装置が作動した。	
5/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q			社内調査の結果、フラップの構成部品交換時の取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
5/21	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC			社内調査の結果、前脚の内部部品の取付け作業において不備があったことが判明した。	
5/21	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	成田国際空港	アンカレッジ	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長資格操縦士として乗務させていたことが判明した。	
5/23	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA20JJ	成田国際空港	福岡空港	地上走行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/23	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	アンカレッジ	シカゴ	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長資格操縦士として乗務させていたことが判明した。	
5/24	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		山口宇部空港	東京国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/25	琉球エアークommューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC			運航整備中、脚扉を手動で開けようとしたところ開かなかった。	
5/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	北九州空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/26	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	シカゴ	成田国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長資格操縦士として乗務させていたことが判明した。	
5/27	東邦航空			八丈島空港	青ヶ島場外離着陸場	運航管理者が勤務開始時のアルコール検査を実施していないことが判明した。	
5/27	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA56AN			定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
5/27	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA463A			定時整備中、航空機用救命無線機の交換後の試験で不具合が発見された。	
5/27	日本航空	エアバス式A350-941型	JA01XJ			社内調査の結果、定時点検の実施期限を超過していたことが判明した。	
5/27	日本航空	エアバス式A350-941型	JA04XJ			社内調査の結果、定時点検の実施期限を超過していたことが判明した。	
5/27	日本航空	エアバス式A350-941型	JA05XJ			社内調査の結果、定時点検の実施期限を超過していたことが判明した。	
5/28	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	バンコク	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物を誤った搭載位置で輸送したことが判明した。	
5/29	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA77AN	新千歳空港	中部国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
5/29	日本航空	ボーイング式737-800型	JA306J	東京国際空港	函館空港	審査合格後の通知を受領する前に、運航業務を行った。	
5/29	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	成田国際空港	上海(浦東)	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長資格操縦士として乗務させていたことが判明した。	
5/30	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA71AN	那覇空港	大阪国際空港	運航整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
5/30	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長資格操縦士として乗務させていたことが判明した。	
6/1	全日本空輸					社内調査の結果、エンジンの部品の一部に技術資料で認めていない組み合わせの部品が使用されていることが判明した。	
6/2	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA05RK	宮古空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/3	日本航空	ボーイング式787-9型	JA866J	ボストン	成田国際空港	到着後、作業者の無線機が貨物室で発見された。	
6/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8323			定時整備中、左エンジン用パイロンの外皮に亀裂が発見された。	
6/3	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	アンカレッジ	シカゴ	運航乗務員が飛行勤務開始時のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
6/4	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC			整備委託先において、パネルの取り付けスクリューに製造者が認めていないものが取付けられていたことが判明した。	
6/5	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/6	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA228J	大阪国際空港	福岡空港	離陸時、脚の操作レバーが上がらないことが判明したため、引き返した。	イレギュラー運航
6/6	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA216J	青森空港	大阪国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/6	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J	那覇空港	福岡空港	出発前、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
6/6	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA27MC	東京国際空港	北九州空港	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/6	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA606A			定時整備中、胴体尾部の外皮に亀裂が発見された。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA301J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA02GR	成田国際空港	佐賀空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/7	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA03JC	福岡空港	鹿児島空港	離陸して、脚上げ操作後、脚が通常と異なる位置にあることを示すライトが点灯した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA302J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA303J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA304J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA305J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA317J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA319J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA321J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA323J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA326J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA329J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA331J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA334J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA336J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA337J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA338J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA345J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8970	シンガポール	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
6/9	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA27MC	東京国際空港	福岡空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/9	朝日航空	エアロスペース式AS332L1型	JA9678			定時整備中、胴体右側下部の外皮に亀裂が発見された。	
6/9	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA20MC			整備委託先において、脚扉の取り付けボルトが不適切な状態で取付けられていたことが判明した。	
6/11	日本航空	ボーイング式787-9型	JA879J	香港	東京国際空港	上昇中、乗員間の確認が不足したことから、管制指示高度を超過した。	
6/11	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA08RK	那覇空港	中部国際空港	運航整備中、航法用の計器画面が両方とも一時的に非表示となった。	
6/12	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	シンガポール	バンコク	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/12	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	バンコク	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/12	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA17JJ			整備委託先において、機内の酸素マスクに製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/12	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	成田国際空港	新千歳空港	地上走行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/12	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA810X	神戸空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/12	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ			特別整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
6/12	日本航空	ボーイング式787-9型	JA861J	ロンドン	東京国際空港	社内調査の結果、良品でない部品を装着していたことが判明した。	
6/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	成田国際空港	香港国際空港	整備従事者が業務開始前のアルコール検査を実施せずに業務したことが判明した。	
6/13	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		山口宇部空港	東京国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
6/15	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A			定時整備中、胴体尾部の縦通材に亀裂が発見された。	
6/15	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	ロサンゼルス	成田国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長資格操縦士として乗務させていたことが判明した。	
6/15	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA22MC			社内調査の結果、ウォッシャー液の配管が一部未接続であったことが判明した。	
6/16	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA86AN	福岡空港	那覇空港	上昇中、機体姿勢の変化により、燃料油量の左右差が運用限界を超過した。	
6/16	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	那覇空港	北九州空港	地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/16	全日本空輸	ボーイング式777F型	JA772F	上海(浦東)	成田国際空港	上昇中、乗員間の確認が不足したことから、管制指示高度を超過した。	
6/16	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J	那覇空港	新石垣空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
6/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA608A	東京国際空港	那覇空港	整備委託先において、スポイラー機構の一部に製造者が認めていない資材が使用されていたことが判明した。	
6/18	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	関西国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
6/19	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	大分空港	中部国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA23JJ	福岡空港	中部国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/19	琉球エア・コミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC			運航整備中、失速警報装置に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
6/19	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	北九州空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
6/20	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8978	東京国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/20	琉球エア・コミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC	那覇空港	久米島空港	運航整備中、失速警報装置に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
6/20	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA87AN			社内調査の結果、飲み水タンクの消毒作業の一部が実施されていないことが判明した。	
6/21	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	北九州空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/21	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA827A	メキシコ	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
6/22	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	関西国際空港	新潟空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/22	琉球エア・コミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC	那覇空港	久米島空港	飛行中、機内用照明灯のベースの一部外れて落下した。	
6/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A			定時整備中、胴体後方の構造部に亀裂が発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM			整備委託先において、発電機の給油作業において、不備があったことが判明した。	
6/22	ファーストエアートランスポート	シヨルスキー式S-76C型	JA11CJ			社内調査の結果、定時点検の作業の一部で古い技術資料に基づき、作業していたことが判明した。	
6/22	ファーストエアートランスポート	シヨルスキー式S-76C型	JA12CJ			社内調査の結果、定時点検の作業の一部で古い技術資料に基づき、作業していたことが判明した。	
6/22	ファーストエアートランスポート	シヨルスキー式S-76C型	JA11CJ			社内調査の結果、定時点検の作業の一部で古い技術資料に基づき、作業していたことが判明した。	
6/22	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA22JJ			整備委託先において、機内の酸素マスクに製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/23	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA806P			定時整備中、右主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
6/24	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA65AN	新千歳空港	中部国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/24	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA742J	シカゴ	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
6/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	福岡空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
6/25	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA737J	シカゴ	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
6/26	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA12RK	那覇空港	中部国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/26	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA828P	福岡空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/27	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA806P	台南	関西国際空港	飛行中、気象レーダーの表示に不具合があった。	
6/28	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA140A	大阪国際空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/28	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA06JC	沖永良部空港	鹿児島空港	地上担当者の確認不足により、誤った乗客を搭乗させて運航させた。	
6/28	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ			定時整備中、客室内の非常用照明灯の機能点検を行ったところ一部、点灯しないことを発見した。	
6/29	日本航空	ボーイング式787-9型	JA878J	サンフランシスコ	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/29	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC			飛行前の煙探知機の点検をしたところ、後方貨物室の換気弁に不具合があることを示すライトが点灯した。	
6/29	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA25MC	東京国際空港	北九州空港	上昇中、化粧室内の煙探知機に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/30	日本航空	ボーイング式737-800型	JA314J			定時整備中、水平安定板の構造部に亀裂が発見された。	
6/30	日本航空	ボーイング式737-800型	JA314J			定時整備中、水平安定板の構造部に亀裂が発見された。	
7/1	日本航空	ボーイング式787-9型	JA863J	ロンドン	東京国際空港	出発時、必要なスイッチ操作を失念したことから、運用限界を超過した。	
7/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	福岡空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
7/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	新潟空港	福岡空港	運航整備中、操縦室内の防水携帯灯の一部に不具合が発見された。	
7/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	福島空港	大阪国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/2	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	北九州空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
7/3	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA138A	大阪国際空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
7/3	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA15FJ	静岡空港	出雲空港	飛行中、確認会話を誤認し、フラップ展開を行ったことから、フラップの運用限界速度を超過した。	
7/3	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA887A			社内調査の結果、必要な資格を有しない確認主任者が法確認を行っていたことが判明した。	
7/5	スカイマーク					飛行動作開始時のアルコール検査を行ったところ、客室乗務員からアルコールが検知された。	
7/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	山口宇部空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/6	日本航空	ボーイング式777-300型	JA752J	大阪国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/7	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	仙台空港	小松飛行場	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/7	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	シカゴ	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/7	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	香港	成田国際空港	降下中、乗員間の確認が不足したことから、管制指示高度を超過した。	
7/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	熊本空港	東京国際空港	社内調査の結果、実施した整備作業が航空日誌で法確認されていないことが判明した。	
7/8	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA12AN	釧路空港	東京国際空港	運航整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
7/8	日本航空	ボーイング式777-200型	JA708J	東京国際空港	那覇空港	出発時、必要なスイッチ操作を失念したことから、運用限界を超過した。	
7/9	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA06FJ	名古屋飛行場	福岡空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
7/10	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA01JC	奄美空港	鹿児島空港	社内調査の結果、発動機内の配管と取り付けが不適切であったことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/10	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA463A	中部国際空港	仙台空港	降下中、与圧系統に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	イレギュラー運航
7/11	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA807P	新潟空港	関西国際空港	離陸滑走中、慣性航法装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/14	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	アンカレッジ	成田国際空港	機長と運航管理者の確認不足により、運用許容基準適用のための運航制限を適用せずに運航した。	
7/15	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA07AN	中部国際空港	新千歳空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
7/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA321J			社内調査の結果、客室座席の部品の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
7/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA305J			社内調査の結果、客室座席の部品の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
7/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA317J			社内調査の結果、客室座席の部品の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
7/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA320J			社内調査の結果、客室座席の部品の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
7/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850A	中部国際空港	秋田空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/16	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA813X	東京国際空港	大分空港	定例整備中、一部復旧作業を失念したため、出発後、エンジンが始動出来ず駐機場に引き返した。	
7/16	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK	宮古空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
7/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	那覇空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA54AN	庄内空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/18	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	シドニー	東京国際空港	降下中、航空交通管制用自動応答装置に不具合が発生した。	
7/19	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	中部国際空港	那覇空港	委託先による運航整備中、定められた手順で試験を行わなかったことから、地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/19	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8978	東京国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/20	日本航空	ボーイング式787-9型	JA872J	成田国際空港	クアラルンプール	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA324J	東京国際空港	長崎空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/20	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA812P			定時整備中、右主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
7/20	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA812P			定時整備中、左主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
7/20	新日本航空	セスナ式172P型	JA4149			社内調査の結果、座席の点検期限を超過していたことが判明した。	
7/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/21	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC	那覇空港	与論空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/21	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA137A	大阪国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/21	新日本航空	セスナ式172P型	JA4061			社内調査の結果、座席の点検期限を超過していたことが判明した。	
7/21	新日本航空	セスナ式172P型	JA3900			社内調査の結果、座席の点検期限を超過していたことが判明した。	
7/22	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8970	青島(中国)	成田国際空港	到着後の点検にて、鳥衝突による第2エンジンの空気取り入れ口の損傷を発見した。	
7/22	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA90AN	那覇空港	福岡空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A			整備品整備中、航空機用救命無線機の重力検知器に不具合が発見された。	
7/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA855A			整備品整備中、航空機用救命無線機の電波の一部が発出されない不具合が発見された。	
7/22	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA224J	新千歳空港	仙台空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	神戸空港	那覇空港	運航整備中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/23	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA808P	成田国際空港	新石垣空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA610A	那覇空港	仙台空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/27	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA217A	鹿児島空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/27	朝日航洋	MDヘリコプターズ式MD900型	JA6914			定時整備中、胴体上部の構造部に亀裂が発見された。	
7/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	東京国際空港	神戸空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/28	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	成田国際空港	シンガポール	着陸時、第1エンジンの逆推力装置の作動を示す表示が非表示であった。	
7/29	朝日航洋	セスナ式680型	JA680C			定時整備中、客室酸素の流量制御系統に不具合が発見された。	
7/29	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA811X	宮崎空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/29	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/30	日本航空	ボーイング式737-800型	JA334J	大分空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	新千歳空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/30	朝日航洋	ハル式430型	JA6912			社内調査の結果、予備品証明を受けていない航法機器を搭載して運航したことが判明した。	
7/31	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA734J	ロサンゼルス	東京国際空港	到着後、作業者の携帯電話が貨物室で発見された。	
8/1	日本航空	ボーイング式767-300型	JA655J	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/1	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA55AN	函館空港	大阪国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	シカゴ	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	シンガポール	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	シカゴ	アンカレッジ	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	シンガポール	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/2	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA814P	関西国際空港	新千歳空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U			定時整備中、右主翼の構造部に腐食が発見された。	
8/3	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA24JJ	高松空港	成田国際空港	運航整備中、客室内の非常灯の一部が点灯しなかった。	
8/3	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA219A	能登空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA605A	福岡空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/3	日本航空	ボーイング式767-300型	JA615J	東京国際空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/4	日本航空	エアバス式A350-941型	JA01XJ	新千歳空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/5	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA72AN	岡山空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA841A	松山空港	大阪国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/5	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA14AN	東京国際空港	釧路空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/5	ANAウイングス	ボーイング式737-700型	JA05AN	大阪国際空港	福島空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/5	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8978	東京国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/6	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA11AN	函館空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/6	日本航空	ボーイング式777-200型	JA771J			社内調査の結果、航空機用救命無線機の点検期限を超過していたことが判明した。	
8/6	日本航空	ボーイング式777-200型	JA772J			社内調査の結果、航空機用救命無線機の点検期限を超過していたことが判明した。	
8/6	日本航空	ボーイング式777-200型	JA773J			社内調査の結果、航空機用救命無線機の点検期限を超過していたことが判明した。	
8/7	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA05GR	成田国際空港	新千歳空港	離陸前、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/7	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC			社内調査の結果、耐空性改善通報による主脚機構の点検期限を超過していたことが判明した。	
8/7	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA82RC			社内調査の結果、耐空性改善通報による主脚機構の点検期限を超過していたことが判明した。	
8/7	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC			社内調査の結果、耐空性改善通報による主脚機構の点検期限を超過していたことが判明した。	
8/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA337J	福岡空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/8	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA68AN	大阪国際空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/8	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A	東京国際空港	旭川空港	着陸時、エンジンに不具合があったことを示す計器表示があった。点検の結果、第1エンジンの逆推力装置に不具合があった。	
8/8	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA803X	東京国際空港	鹿児島空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/9	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA857A	熊本空港	中部国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/9	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA810X	東京国際空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/9	せとうちSEAPLANES	クエスト式Kodiak 100型	JA03TG	境ガ浜	境ガ浜	飛行中、脚上げ操作後、脚が通常と異なる位置にあることを示すライトが点灯した。	
8/9	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A	東京国際空港	新千歳空港	スラストリバーサーの運用許容基準の適用にあたり処置が不足していたことから、離陸前にエンジン出力が上昇せず、離陸を中止した。その後地上走行中に推力が正常に戻ったため離陸したが、巡航飛行中再びエンジン出力が一時的に上昇しなかった。	
8/9	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA928A			定時整備中に航空機用救命無線機が作動しなかった。調査の結果、製造時にスイッチが入っていなかった事が判明した。	
8/9	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA141A			社内調査の結果、エンジン関連部品交換後に、必要な登録を行わなかったことから、検査が行われないうまま運航していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/10	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA605A	東京国際空港	鹿児島空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
8/10	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A			定時整備中、胴体後方の構造部に腐食が発見された。	
8/11	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA74AN	福岡空港	仙台空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	東京国際空港	神戸空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/11	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA16AN	新千歳空港	神戸空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/12	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA90AN	新千歳空港	中部国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	福岡空港	東京国際空港	着陸後の地上滑走中、ブレーキの一部が解除されなくなった。	イレギュラー運航
8/12	日本航空	ボーイング式787-8型	JA847J	東京国際空港	大阪国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/13	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA830A	東京国際空港	新石垣空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/13	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ	松本空港	神戸空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/13	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA214J	種子島空港	大阪国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
8/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	那覇空港	中部国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8970			定時整備中、後方の貨物室扉の構造部に腐食が発見された。	
8/13	日本航空	エアバス式A350-941型	JA02XJ	東京国際空港	福岡空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NY	那覇空港	東京国際空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/14	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA607A			社内調査の結果、実施した整備作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
8/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/16	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA75AN	石見空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	那覇空港	東京国際空港	降下中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/16	日本航空	ボーイング式767-300型	JA623J	那覇空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/17	日本航空	ボーイング式737-800型	JA328J	大阪国際空港	奄美空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8970			定時整備中、胴体前方の構造部に腐食が発見された。	
8/18	日本航空	ボーイング式737-800型	JA305J	青森空港	東京国際空港	上昇中、脚上げ操作を行ったところ、脚上げ時における運用限界速度を超過した。	
8/18	日本航空	ボーイング式787-9型	JA875J	大連	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/18	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA801X	東京国際空港	鹿児島空港	定例整備中、一部復旧作業を失念したため、運航便出発前、油圧が加圧出来なかった。	
8/19	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8971	那覇空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/19	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港	巻岐空港	運航整備中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/19	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A			定時整備中、胴体後方の構造部に腐食が発見された。	
8/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG			技術資料の解釈を誤ったことから、必要な繰り返し点検を計画せずに運航した。	
8/20	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA779A	成田国際空港	ロサンゼルス	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA348J	福岡空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/20	日本航空	エアバス式A350-941型	JA01XJ	東京国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/21	日本航空	ボーイング式737-800型	JA301J	出雲空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z			社内調査の結果、修理の持ち越し処理に必要な作業の一部が実施されていないことが判明した。	
8/22	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	鹿児島空港	福岡空港	社内調査の結果、実施した整備作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
8/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	東京国際空港	福岡空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/23	日本航空	ボーイング式787-8型	JA847J			社内調査の結果、胴体のパネルの不具合に対して必要な点検を行わずに運航していたことが判明した。	
8/24	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA779A	シカゴ	成田国際空港	到着後、作業用端末が貨物室で発見された。	
8/24	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC			整備委託先において、電子機器室内の水漏れ用の保護パネルが取り付けられていなかったことが判明した。	
8/24	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA03DJ			定時整備中、非常用脱出装置の電源系統に不具合が発見された。	
8/26	北海道エアシステム	ATR式42-500型	JA11HC	札幌飛行場	釧路空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AC	福岡空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/26	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA612A	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/26	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA87AN	東京国際空港	富山空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
8/26	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	大連	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/26	朝日航洋	ソコスキー式S-76D型	JA6960	東京ヘリポート	愛知県豊田市場外離着陸場	降下中、通常の脚下げ操作を行ったところ脚が展開しないことが判明した。	
8/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	東京国際空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/27	日本航空	ボーイング式787-8型	JA848J	東京国際空港	福岡空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/28	日本航空	ボーイング式767-300型	JA610J			社内調査の結果、特別整備の際に必要な点検を行わずに運航していたことが判明した。	
8/28	日本航空	ボーイング式777-200型	JA010D	新千歳空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	東京国際空港	福岡空港	離陸後の上昇中、鳥衝突により左側導体前方に損傷を受けた。	航空事故
8/29	学校法人ヒラタ学園	ユーロコプターEC135P2+型	JA827H	浦添HP	久米島病院HP	飛行中、確認が不足したことから、特別管制区に無許可侵入した。	
8/30	せとちうSEAPLANES	クエストKodiak 100型	JA03TG	境ガ浜	境ガ浜	進入中、必要な操作を行わなかったことからウォーターラダーを損傷させた。	
8/30	日本航空	ボーイング式787-9型	JA861J	ロサンゼルス	東京国際空港	進入中、乗務員の失念により管制指示高度を逸脱した。	
8/30	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851A	宮崎空港	福岡空港	離陸時、パワーレバーを出し過ぎたことから、両エンジンのトルクが運用限界を超過した。	
8/31	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845A	宮崎空港	大阪国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/1	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA23JJ			社内調査の結果、部品交換時の取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
9/1	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA801X	大分空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA22MC	北九州空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
9/2	日本航空	ボーイング式737-800型	JA323J	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/2	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA80AN	東京国際空港	那覇空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	福岡空港	大阪国際空港	到着後、垂直安定板前縁に取り付け保護テープが欠損していた。	
9/3	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA132A	神戸空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型				社内調査の結果、飛行管理装置に有効期限切れのバッテリーが組み込まれていたことが判明した。	
9/4	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港	香取空港	到着後、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/4	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	新潟空港	大阪国際空港	到着後、垂直安定板前縁に取り付け保護テープが欠損していた。	
9/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA608A	東京国際空港	大阪国際空港	進入中、前縁フラップに不具合があったことを示す計器表示があったため復行した。	
9/5	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	成田国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/5	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA809P	関西国際空港	新潟空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/5	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA824A	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/6	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA217J	大阪国際空港	新潟空港	着陸時、ギャレーからカートが飛び出した。	
9/6	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA814P	成田国際空港	関西国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物を輸送したことが判明した。	
9/8	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	東京国際空港	福岡空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/8	全日本空輸	エアバス式A321-211型	JA111A	福岡空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC			定時整備中、操縦室内予備座席の酸素供給装置に不具合が発見された。	
9/8	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC	那覇空港	北九州空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/8	日本航空	ボーイング式777-200型	JA710J	大阪国際空港	那覇空港	運航乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
9/9	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA823P	成田国際空港	新石垣空港	飛行中、擾乱により管制指示高度を逸脱した。	
9/9	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA69AN	新千歳空港	大阪国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/9	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA01DJ			定時整備中、客室内の防水携帯灯の一部に不具合が発見された。	
9/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	シンガポール	成田国際空港	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
9/9	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC	北九州空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/10	ANAウイングス	ボーイング式737-700型	JA02AN			運航整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
9/10	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	アンカレッジ	成田国際空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
9/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q			社内調査の結果、部品取り付け後の付随作業が実施されていないことが判明した。	
9/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN			社内調査の結果、部品取り付け後の付随作業が実施されていないことが判明した。	
9/11	全日本空輸					社内調査の結果、エンジンのファンブレードの一部に必要な表面加工が実施されていないことが判明した。	
9/22	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA250J	仙台空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	広島空港	仙台空港	運航形態毎の客室乗務員の着席位置不明確であったことから、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
9/13	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA222J	新潟空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/13	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	シカゴ	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/14	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA16AN	東京国際空港	新千歳空港	離陸滑走中、客室扉が開いたことを示すライトが点灯したため、離陸を中止した。	
9/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL			運航整備中、非常用脱出扉の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
9/17	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA788A	ロサンゼルス	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/17	日本航空	ボーイング式777-200型	JA009D	東京国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/17	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	東京国際空港	福岡空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/17	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y			運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
9/18	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA136A	東京国際空港	大分空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
9/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA610A	福岡空港	東京国際空港	特別整備中、客席のシートカバーの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
9/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA618A			特別整備中、客席のシートカバーの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
9/19	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA809P	釧路空港	関西国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/19	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA227J	仙台空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/19	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA462A	大阪国際空港	秋田空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA340J	新千歳空港	東京国際空港	客室乗務員が乗務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
9/21	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA11AN	東京国際空港	新千歳空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
9/21	日本航空	ボーイング式737-800型	JA333J	熊本空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/22	日本航空	ボーイング式737-800型	JA309J	東京国際空港	青森空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN			定時整備中、操縦室内予備座席の酸素マスクのホースから漏れがあった。	
9/23	日本航空	ボーイング式737-800型	JA305J	グアム	グアム	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/23	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA846A			装備品整備中、航空機用救命無線機の重力検知器に不具合が発見された。	
9/24	北海道エアシステム	ATR式42-500型	JA11HC	札幌飛行場	函館空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/24	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA15FJ	静岡空港	札幌飛行場	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/25	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA133A	函館空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	日本航空	ボーイング式787-9型	JA865J	東京国際空港	ダラス	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA605A	東京国際空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	福岡空港	東京国際空港	上昇中、主脚格納室内に火災があったことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
9/26	日本航空	ボーイング式737-800型	JA341J	東京国際空港	松山空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したことを示す警報が鳴ったため、引き返した。	イレギュラー運航
9/26	日本航空	ボーイング式737-800型	JA326J	東京国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/28	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA217J	福岡空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/28	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA213J	福岡空港	宮崎空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/28	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA792A	東京国際空港	ニューヨーク	上昇中、航空交通管制自動応答装置と航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
9/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	中部国際空港	那覇空港	飛行中、両方の飛行管理装置に不具合が発生した。	
9/29	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	シカゴ	成田国際空港	到着後、作業者の無線機が貨物室で発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/30	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	アムステルダム	ミラノ	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
9/30	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA732A	東京国際空港	ロサンゼルス	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
9/30	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA789A	東京国際空港	ロサンゼルス	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
9/30	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA785A	シカゴ	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
9/30	全日本空輸	ボーイング式777F型	JA771F	シカゴ	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
9/30	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA777A	シカゴ	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
9/30	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA792A	東京国際空港	ニューヨーク	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	